

# MELON

# 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2011年9月★第95号

## みやぎ節電プロジェクト2011「自慢のグリーンカーテン！」



今年の夏、緑のカーテンに挑戦した方がたくさんいるのではないのでしょうか？みやぎ節電プロジェクトでは、宮城野小学校社会学級生16名の方が緑のカーテンにチャレンジしました。家の中と外の気温の測定を6月～8月にかけて5回行っていきます。その測定によると、最大で5℃も室外の気温に比べて室内の気温が低いお宅がありました！日陰になり実際に涼しく感じるという感想も聞いています。詳しくはみやぎ節電プロジェクトのウェブサイトをご覧ください！

**MELONとは** 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

### MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
  - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
  - ボランティアや部会に参加することでボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
  - 年5回の情報紙をお届けします。
  - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

### Index

- P1. みやぎ節電プロジェクト2011
- P2. セツ浜再生プロジェクト海岸清掃&復興まつり
- P3. エコシティ仙台プロデュースプロジェクト  
夏の子ども向けイベント  
&タンブラー持参推進キャンペーン
- P4. MELONcafe フチ講座  
かんきょう読み聞かせ「夜の神話」
- P5. 協同組合のコーナー  
50人リレートーク 町直樹さん
- P6. ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P7. 水力発電候補地 現地観察会  
宮城県住宅用太陽光発電システム補助金の  
受付窓口  
新スタッフ&インターン紹介
- P8. 投稿、イベント一覧、編集後記



## 震災復興へ向けて セブ浜再生プロジェクト 海岸清掃&復興祭り

宮城県有数の海水浴場として親しまれていたセブ浜町 菖蒲田浜。明治21年に海水浴場として開設し、歴史のある美しい海岸も3.11の津波で大きな被害を受けました。海岸の砂は流され、大潮や満潮の時には防潮堤付近まで波が押し寄せ、そのたびに瓦礫が流れ着く状態でした。

そこで、MELONでは、セブ浜を活動拠点としているNPO、多賀城や仙台の中間支援組織、企業や地元の方と共に、7月に「セブ浜再生プロジェクト」を立ち上げ活動を開始しました。

### ■菖蒲田浜 週末海岸清掃活動



毎週清掃するたびに土嚢袋が山積みになりました

活動の1つ目は7月末～9月初までのほぼ毎週土日の海岸清掃です。セブ浜町ではボランティアセンターが活動を行っていますが、基本的には生活の場となる住宅などの清掃が優先されます。そこで、海岸清掃のみのボランティアを独自に募集しました。

毎回宮城県内や、県外からバスで訪れたボランティアの40名～100名が菖蒲田浜をきれいにしました。1週間が経過すると、また新たな瓦礫や漂流物が流れ着くため、毎回土嚢袋が山積みになるほどでしたが、徐々に菖蒲田浜はきれいになっていきました。

### ■「菖蒲田浜・復興まつり」開催

3.11から約半年の9月10日（土）に、地元の方々の多大なる協力を得て復興まつりを開催しました。

当初、イベントの開催を地元の方に相談したところ、「20年以上毎年7月に打ち上げ花火の



約500名での海岸清掃



海に向かって手を繋ぎ、黙とう（手には全国の砂）



セブ浜町の町花「ハマギク」の植栽



キッズチアガールも登場し盛り上がる祭り会場

ある夏祭りをやっていたが、今年は断念した。だが、地震から半年が経った。もう鎮魂はいい。みんなが楽しく元気になる、前に歩いていけるような盛大なお祭りがやりたい！」との強い思いを聞き、「菖蒲田浜・復興まつり」を開催することになりました。

当日、海岸清掃と復興セレモニーには予想をはるかに超える約500名、夕方からの出店や花火には1000名が参加しました。

復興セレモニーでは、海に向かって手を繋ぎ黙とうを捧げた後、全国各地だけでなく海外からも届いた海の砂を、菖蒲田浜に少しずつまいていきました。減った砂浜を少しでも戻し、来年は海水浴ができるようお願いながら…。さらに、セブ浜町の町花「ハマギク」を松林に植えていきました。「ハマギク」の花言葉は“逆境に立ち向かう”。まさにこれからのセブ浜・菖蒲田浜を象徴する花です。このハマギクが植えられるほど松林もきれいになったことを実感しました。

出店・ステージ発表・打ち上げ花火も大いに盛り上がり、地元の方からは「本当に楽しかったわ。津波を見てから怖くて海に来れなかった。こんなに海岸がきれいになっているなんて、来てよかった。」「こんなにしてくれてありがとう。きれいな花火に感動して涙が出てきちゃったわ。」との嬉しい声をいただきました。

MELONはこれからもセブ浜・菖蒲田浜の復興を応援していきます！

## エコシティ仙台プロデュースプロジェクト 夏の子ども向けイベント&タンブラー持参推進キャンペーン

エコシティ仙台プロデュースプロジェクトでは毎年夏休みにベガルタ仙台、楽天イーグルスそれぞれのスタジアムで子ども向けイベントを開催しています。



エコステーションで分別指導体験中！

7月31日（日）ユアテックスタジアム仙台で、毎年恒例の「めざせ☆ベガルタ仙台・エコサポーター！！」を株式会社ベガルタ仙台と共催で行いました。これは20組みの親子を募集し、スタジアムでの環境活動について体験・勉強してもらうイベントです。

インタビュールームで行った講座では、株式会社サイコーの小幡氏に4Rについてお話いただき、その後子どもたちは環境メッセージの入った横断幕を持ってピッチを周回、エコステーションでの活動ではサポーターに元気にごみ分別を呼びかけました。また、試合終了後には観客席のごみ拾いも行いました。

帰りには「ごみの分別って大変だけど楽しいね。」と父親に話すお子さんもいて、ユアテックスタジアム仙台で行われている環境活動について知ってもらうよい機会になったと思います。



エコ検定に挑戦する子どもたち

8月7日（日）8日（月）12日（金）13日（土）の4日間はクリネックススタジアム宮城で「Kスタ宮城、エコ体験ブース」を開設しました。例年の自転車発電体験と

正解数に応じてステッカーがもらえるエコ検定に加え、今年は女の子向けにリメイクキャンドルの絵付け体験も行いました。

野球の応援に来た子どもたちですが、エコ検定へのチャレンジやキャンドルの絵付けに夢中になり、試合を忘れていたのでは、と心配になるくらい真剣に取り組んでいました。



キャンペーンブースで特製扇子を配布中

もう一つお知らせです。現在ベガルタ仙台のホームゲームで、「マイタンブラー持参推進キャンペーン2011」を実施中です！

マイタンブラーの使用率をあげて紙コップを削減しようというキャンペーンです。実施内容は以下のとおりです。みなさまのご参加をお待ちしています！

### ■対象試合（会場は全てユアテックスタジアム仙台）

〔8月27日（日）vs モンテディオ山形〕

〔9月17日（土）vs アルビレックス新潟〕

〔10月2日（日）vs セレッソ大阪〕

〔10月22日（土）vs 川崎フロンターレ〕

〔11月3日（木・祝）vs サンフレッチェ広島〕

### 【開催場所】

ユアテックスタジアム仙台 コンコース内特設ブース

### 【開設時間】

16：30～ハーフタイム終了まで

### 【実施内容】

- ・当日チケットがあり、球団公認のタンブラーをスタジアム内の特設ブースに持参した方に、星のシールを1枚貼ったキャンペーン特製扇子を差し上げます。
- ・次回以降、タンブラーと特製扇子を特設ブースに持参し、対象5試合で星のシールを3枚集めて応募すると抽選でエコグッズをプレゼント。

※応募方法等詳細はスタジアム等で配布しているチラシかMELONホームページをご確認ください。





# MELONcafe

9月3日 (土) 13:30 ~ 14:30  
 プチ講座「米粉で簡単♪お月見団子づくり」

9月12日の中秋の名月を楽しむためにお月見団子を作りました。米粉はしっとりもちもちとした食感と自然な甘みが特徴です。小麦粉の代用として、お菓子ははじめ、パン、ピザや麺類などさまざまな料理にアレンジできます。地場の米粉を購入することにより、輸送時に発生するCO<sub>2</sub>の削減になります。

また、日本の食卓が洋食が多くなってくるとともに、食料自給率が約40%となってきました。普段のお買い



レンジで加熱して、すりごき棒で練りました。



月見団子を作りました！

物で国産の食料を意識をして購入することにより、食料自給率の向上に努めましょう！

豆腐を使ったお月見団子の作り方を紹介します。

材 料：米粉100g、砂糖大1、絹ごし豆腐150g

作り方：①耐熱用のボールに材料をすべて入れよく混ぜます。

②ラップをし、レンジで3分加熱します。

③スプーン（すりごき）でよく混ぜます。

④再びラップをし、2分加熱をします。（様子を見て適宜加熱をします。）

⑤できたものを手でよくこねます。15個に分け丸めます。

器にきれいに並べたら完成です！

プチ講座の内容を検討するMELONcafe企画部ではメンバーを募集しています。詳しくはMELON事務局まで。

### 今後のMELONcafe プチ講座

10月15日 (土) 13:30 ~ 14:30

「古着をリメイク★お花のプローチ作り」



## 夜の神話

テレビから消えたものをさがしたら

石垣政裕

南相馬市のある保育園の子どもたちに、紙芝居や腹話術を楽しんでもらおうと海辺の道路を南下しました。いつもと変わらない暑い夏がきて、がれきの山も土壘と見まがうほどすっかりとみどりにおおわれています。自然は子どもにとってかけがえのないもの。子どもが走りまわる海や山や野原は私たちが大切にすべきものとわかっていても、私たちはその気まぐれを恨みました。がんじがらめの明日に対するいらだちをほどくために、長い時間とまたたくさんの方が努力が必要だと思っています。

ふと気づくと、福島原子力発電所の事故に対して環境大臣がテレビで話しているのをあまり見てい

ません。人間にも自然にも「環境」に対してこれほどまでに大きなダメージを与えているのに経産大臣だけが映し出されません。私たちが培ってきた「環境」はこんなちっぽけではないはずなのですが。

気を取り直して、子どもと一緒にもう一度本を読み始めましょう。

たつみや章 作、かなり泰三 絵「夜の神話」（講談社、1993年7月）。田舎に引っ越した小学生のマサミチの前に「そっちの世界の」変なやつらが現れます。この『ひとたち』は、人間が化学技術を使ってこしらえたものとは違う世界で生きている『ひとたち』なのです。その夜、マサミチのパパが会社の人を連れてきたけど、その人はどうも病気のようです。これまでのマサミチだったらよく分からなかっただろうけど、そっちの『ひとたち』との関わりを持ったがためにその「事故」のことは知ることになったのです。

まだ、「それだけですんでいた」時代の本ですが、いま起きていることを本のそばにでも置いて読み直すと、からだがゾクゾクとします。



## 各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

### 学習会「これからのエネルギーを考えよう」参加者募集

東京電力福島第一原発事故により、エネルギー供給の不安定さが明らかになりました。原子力発電の問題を含む、今後のエネルギーのあり方や、わたしたちの暮らしについて考えます。

日 時：12月5日（月）10時30分～12時30分

会 場：エル・パーク仙台 6階スタジオホール（仙台市青葉区一番町4-11-1）

講 師：新妻 弘明さん

（東北大学大学院環境科学研究科教授工学博士 エネルギー・環境学）

参加費：無料／託児あり（2歳以上、要申し込み）

申し込み締め切り：11月30日（水）

#### 申し込み・問い合わせ先

〒981-3194

仙台市泉区八乙女4-2-2 文化会館ウイズ内  
生活文化部暮らしの活動事務局

TEL：022-218-5331 FAX：022-218-5945

メール：sn.mkankyok@todock.jp



©MIC



## MELON20周年をめざせ！ 50人リレートーク



第38人目の執筆者

町 直樹さん  
（宮城県職員）

ちょっとしたきっかけから畑を借りて野菜を栽培することになりました。今年で4年目になります。トマトにジャガイモ、ゴーヤにサトイモ、サツマイモ…栽培するにつれて、いろいろ感じるがあります。

まずは野菜をよく食べるようになった事。自分で作ると食べ物を作る苦勞が少しだけ分かって、食べ物をあまり粗末にはしなくなりました。

二つ目はお店で売っている野菜がいかにキレイか、という事。特に葉もの野菜はキレイな状態で仕上げる大変さについて、身をもって知ることができました。

最後は食べ物の価格が安いという事。もちろん、国産野菜は輸入物と比較して価格は上ですが、それでも自分で作った時の手間を考えると、とても「高

い」とは言えなくなります。

個人的に畑に取り組んでいる他に、友人にも恵まれて仲間たちと「雑穀」の栽培にも携わっています。「その他の穀類」とはいえ、田でも畑でも作れるヒエや、ひき肉のようにつぶつぶが美味しいモロコシなど、知れば知るほど面白みが増し、様々な可能性を感じます。まだまだ仲間たちと作業することを楽しんでいる段階ですが、自ら食糧を作り出せる、ということを強みとして栽培に励んでいきたいと思っています。

最近は節電の流れもあり緑のカーテンなど一般的に取り組まれるようになりました。皆さんもおうちの庭やベランダで、植物と触れ合ってみてはいかがでしょうか。

… 次号執筆者紹介 …

平井崇昇さん  
（Horse Garden SENDAI）



# ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.52

## あなたの家のエコ度は？～うちエコ診断開始～

環境省の調査(※)によると、「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている」と思っている方は92%。そして「節電などの省エネに努めたい」という方は95%にのぼります。しかし環境への意識が高まる一方で2009年度に家庭から出たCO<sub>2</sub>の量は、1990年と比べて26.9%増えているのが現状です(環境省発表)。

そこで重要なのは実質的なCO<sub>2</sub>削減につながる行動を進めることです。マイバッグやこまめな節電はもちろんとても大事！そこからさらに一歩踏み込むため、各家庭のCO<sub>2</sub>排出の実態を見える化して効果的な対策を提案するのが「うちエコ診断」なのです。



受診者と診断員と一緒にパソコンを見ながら診断します(昨年度の様子)

うちエコ診断では、「うちエコ診断員」が専用ソフトを使って、受診者のライフ

スタイルを勘案しながら診断を行います。例えば、移動には車が欠かせない地域では「車に乗らないで！」と言っても実践は難しいですね。ならば車を買替えると燃料費の削減額や費用対効果はどうか、車以外の分野ではどこを重点にするとよいかなどいわばオーダーメイドの対策をご提案します。

昨年の試行事業ではモニター家庭の97%が「省エネに役立つ」と答えました。是非この機会にうちエコ診断を受診してみませんか？詳しくはストップ温暖化センターみやぎにお問い合わせください！

※出典：「環境にやさしいライフスタイル実態調査」(平成22年度調査)

### うちエコ診断とは

- ・「わたしの家」のエコロジー度がわかる！  
自分の家でCO<sub>2</sub>が多く出ているのは暖房？給湯？それとも車？自宅の「どこから」「どれだけ」CO<sub>2</sub>が出ているかを分析し、平均的な家庭との比較からエコロジー度を判定します。
- ・「わたしの家」ではどんな対策が効果的かがわかる！  
診断結果をもとに、オーダーメイド型の対策をご提案します。

## 推進員だより No.1

### キーワードは「積み重ね」！

澤田敏翁(としや)さん 澤田裕子さん  
塚崎隆夫さん

県の委嘱を受けて地域での温暖化防止活動に取り組む「宮城県地球温暖化防止活動推進員」。今回から「推進員だより」として活動の内容や感じたことなど活動の現場の様子をご紹介します！

今回ご紹介する方々は、9/8(木)に名取市愛島公民館で省エネ講座を行いました。受講者は意識の高い方が多く、震災をきっかけに照明を全てLEDに変えた方もいらしたとか。皆さんはこれまでも他の仲間の方々とチームを組んで小中学校での環境学習を実施した実績があり、今後も既に講座の予定が決まっています。「一つ一つ、一人一人の積み重ねが大事なんだということを伝えていきたい」(澤田裕子さん)という思いを胸に、皆さんの活動はますます広がります！



澤田敏翁さん



塚崎隆夫さん



澤田裕子さん

## 環境教育支援継続中！ ～教員向け見学会・研修会の開催～

- 廃棄物処理の流れを考える(見学会)  
日 時：7月26日(火) 9:00～17:00  
見学先：仙台市松森工場など
- 食品廃棄物リサイクルの最新状況(見学会)  
日 時：8月2日(火) 8:00～17:00  
見学先：みやぎ生活協同組合店舗など
- 大学や地域主体と連携した環境教育の展開(研修会)  
日 時：8月10日(水) 10:00～16:00  
場 所：仙台市市民活動サポートセンター  
内 容：基調講演、意見交換会

宮城大学地域連携センターが行っている環境教育支援事業の一環として、小学校教員などを対象としたゴミ処理施設等の見学会と研修会が開催されました。ストップ温暖化センターみやぎはこの事業に協力しています。

見学会では、小学校で行う施設見学の下見として、家庭ゴミやスーパーの食品残さのリサイクル施設を訪問しました。参加者からは「テレビなどでは見ていたが、実際に見たインパクトとは比べ物にならない。ぜひ子ども達にも見てもらいたい」との声も。

また、研修会の基調講演では、いわき明星大学の東之弘教授から、小学校と大学が連携した環境教育の事例が紹介されました。連携のポイントは「相手の立場に立つことが大事」とのこと。参加者からは「とても勉強になった」との声を多くいただき、今後の環境教育のヒントが得られた研修会となったようです。



リサイクル堆肥を利用した水田の見学(JAみどりの田尻営農センター)



## 小水力発電候補地 現地観察会

日時：2011年8月18日（木）

参加者：14名（MELON自然エネルギー等普及プロジェクト、EPO東北、川崎町の資源をいかす会エネルギー部会の会員、環境省職員）

自然エネルギー等普及プロジェクトでは、川崎町の自然を生かした小水力発電施設の導入を検討するために、川崎町の資源を生かす会のエネルギー部会と合同で川崎町内で見学会を開催しました。

その中の1か所、部会として特に取り組みたい場所がありました。それは川崎町内の中心にある川内大橋の近くの河川公園です。ここの公園は北川から豊富な水が安定的に供給されています。その公園内に水車や小さな水

力発電を設置した場合、子どもたちの環境教育や町の自然を生かした持続可能な自然エネルギーとしてのシンボルとなる可能性があります。

ただ、ここで問題となるのが設置するための許可や資金です。部会としては、問題を一つずつ解決していき、持続可能な自然エネルギーを作りだせるようにこのプロジェクトを進めていければと思います。



川崎町青根方面の砂防ダム前にて

## 宮城県住宅用太陽光発電システム補助金の受付窓口業務

MELONでは本年度、宮城県が住宅用太陽光発電システムの購入者に対し交付する補助金の受付窓口の業務を受託しました。

これは住宅用の太陽光発電システムを購入した個人が宮城県に申請を行うと一定の条件のもとに補助金が交付されるというものです。

専任担当を雇用し、8月1日（月）に受付をスタートしましたが、予想以上に申請が殺到し、宮城県が用意した約1,000件分の予算は9月7日（水）の申請でいっぱいになってしまいました。よって、今年度の宮城県の本補助金は受付終了となりました。

被災して家を再建する際に取りつける方も多く、震災以

後、自然エネルギーへの関心がより高まったことも影響しているのかもしれませんが。本事業は受付事務ではありませんが太陽光という再生可能エネルギーの普及に多少なりとも貢献したのではないかと思います。

来年度もこの補助金が続くのかどうかは現時点では未定ですが、補助金のあるなしにかかわらず自然エネルギーがさらに普及することを望みます。



補助金窓口受付

## MELON新スタッフ&インターン紹介

### 新スタッフ

8月よりMELONで行っている宮城県住宅用太陽光発電システム補助金窓口業務の担当スタッフとして2名が加わりました。



#### ■高橋民子

環境保全活動について学びながら、一生懸命働きたいと思っています。

趣味：読書、樹木写真の収集



#### ■吉田美緒

少しずつみなさんと馴染めるように頑張ります。よろしくお願いします。

趣味：音楽鑑賞、読書、料理

### インターン生

環境団体で活動や職場経験をするインターン生が2名入りました。



#### ■小金澤明由

色々な作業を教えてもらうことで、しっかりと経験を積んで、基本的なマナーやオトナな考え方を身につけるのが目標です！

趣味：旅行とバレーボール



#### ■鈴木敬子

この7ヶ月間を有意義なものにするために、たくさんの方の事を吸収していきたいです。全力で頑張ります！

趣味：読書、動物の絵をかくこと、動物を見ること

◆ これから事務所や活動の中でお世話になることもあると思います。みなさんよろしくお願いします！ ◆

95 号の投稿テーマ

**冬の節電に向けて始めたこと・始めようと思うこと**

「ゆたんぼ」

昔ながらののではなく、プラスチック製のものです。あとは、レックウォーマーとポディーウォーマー（はらまきとも言う）。(T)

「薪ストーブ導入」

物置の中に古いあまり使っていない薪ストーブを発見したので、家で使ってみようと思案中。(HN)

「日中は常に厚着」

毛糸のパンツ、腹巻等プチ保温グッズを活用。料理時は台所ドアを開放して熱を茶の間へ送り、体が温まる料理 or 辛い料理（鍋物、汁物、カレーとか）を量産して暖房節約！風呂に入ってすぐに寝て暖房節約！

「電気を使わない石油ストーブ」

湯たんぽも持っているので使う予定です。空気を流すサーキュレーターもほしいなと思っています。(いく)

**投稿募集**

96号テーマ

「2012年のエコの抱負を5・7・5で言うと…」

次号は新年号。2012年、1年間のエコに関する抱負（目標や始めることなど）を5・7・5にまとめてお寄せください。

特典

投稿が採用された方には「エッグキャンドル」をプレゼント！式場のキャンドル・卵の殻でリメイクしたかわいいエッグキャンドルです。



投稿方法

■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等にてMELONへお寄せください。

ケータイからの投稿はQRコードからご覧いただくと簡単です。



■締め切り：12月9日（金）

**編集後記**

- はじめてノンアルコールビールを飲んだ、意外においしかった。しかも少し酔った気分にもなり、不安な気持ちで運転して帰宅した。ウソのようなホントの話。(木城)
- MELONが公益財団法人になるので、パンフレットや封筒、ホームページや印鑑などいろんなものを作り替えなきゃいけないことにあたふたしています…。(廣重)
- 秋の虫が鳴き始め、過ごしやすくなってきましたね。でも涼しくなるとそれはそれでさびしい気もします。ちょっと猛暑が恋しい…。(小林)
- 家で観葉植物のポトスを育てています。今年の春に株分けをしたところ、夏の暑さで思った以上に増えすぎてしまいました。欲しい方はご連絡下さい。(岸)

**MELON イベント情報**

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

10/11(火)	第6回 MELON 環境市民講座 環境施設見学会 「家庭ごみのゆくえを見てみよう」
10/13(木)	MELONcafe 企画部 例会
10/15(土)	MELONcafe プチ講座 「古着をリメイク★お花のプローチづくり」
10/16(日)	第7回 MELON 環境市民講座「エコ芋煮会」
10/17(月)	みやぎ里山応援団 例会
10/18(火)	エコシティ仙台サポーターズ 例会
10/22(土)	まちなか eco マルシェ
10/29(土)	環境市民講座「白炭作り体験会(仮)」
11/5(土)	第8回 MELON 環境市民講座 「秋の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」 水部会 例会
11/10(木)	4R 推進部会 自然エネルギー等普及プロジェクト 例会
11/12(土)	第9回 MELON 環境市民講座「親子でエコ・クッキング〜クリスマス編〜(仮)」
11/13(日)	環境市民講座 「薪わり体験・薪ストーブを楽しもう(仮)」
11/19(土)	MELONcafe プチ講座 「かぼちゃのプリン作り(仮)」
11/26(土)	まちなか eco マルシェ

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

会員状況

978名

法人 97

任意団体 17

個人 864

2011年8月31日現在

**ボランティアポイントカードをご活用ください**

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1回の参加で1スタンプを捺印します。5つ貯まるとMELON協力商品券(1,000円分)と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。



**MELON 協力商品券を利用しましょう。**

「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部がMELONに寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。



この印刷物は、輸送マイルージ低減によるCO<sub>2</sub>削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/

